

「協働」が新しいまちづくりのカチをつくりだす！！

平成30年度 掛川市市民活動推進事業 報告書

令和元年6月17日

掛川市生涯学習協働推進課

目 次

平成30年度 掛川市市民活動推進事業 採択団体一覧	1
---------------------------	---

パートナーシップ事業

特定非営利活動法人 冀北の杜	2 ~ 3
「～優しい心のバトンをつなぐ～障がい者就労で絵本創作」 (協働相手：掛川市福祉課)	
特定非営利活動法人 COMPAS	4 ~ 5
「みんなで子育て『カラフル・ブリッジフェアIN掛川』」 (協働相手：掛川市社会福祉協議会)	

行政課題解決事業

中村砦城山保全会	7 ~ 8
「中村砦の避難道整備による地域の安全、安心づくり事業」 (協働相手：中地区高塚区、掛川市社会教育課)	
協働遠州	9 ~ 11
「掛川市防災意識向上プロジェクト」 (協働相手：掛川市危機管理課)	
掛川市観光物産センターこだわりっば(受任者 西東石油株式会社)	12 ~ 14
「市民主体のイタリア・ペーザロ市との経済交流・観光振興の推進」 (協働相手：かけがわ街づくり株式会社、掛川市企画政策課、掛川市観光交流課)	

平成30年度掛川市市民活動推進事業 採択団体一覧

	団体名	金額(円)	補助種別	事業種別	協働相手	タイトル
1	特定非営利活動法人 冀北の杜	250,000	補助 (3/4)	パートナーシップ	掛川市福祉課	～優しい心のバトンをつなぐ～障がい者就労で絵本創作
2	特定非営利活動法人 COMPAS	133,000	補助 (1/2)	パートナーシップ	掛川市社会福祉協議会	みんなで子育て「カラフル・ブリッジフェアIN掛川」
3	中村砦城山保全会	500,000	補助 (10/10)	行政課題解決	中地区高塚区 掛川市社会教育課	中村砦の避難道整備による地域の安全、安心づくり事業
4	協働遠州	500,000	補助 (10/10)	行政課題解決	掛川市危機管理課	掛川市防災意識向上プロジェクト
5	掛川市観光物産センター こだわりっぱ (受任者 西東石油株)	500,000	補助 (10/10)	行政課題解決	かけがわ街づくり株式会社 掛川市企画政策課 掛川市観光交流課	市民主体のイタリア・ペーザロ市との経済交流・観光振興の推進
	5団体	1,883,000				

事業報告書

団 体 名	特定非営利活動法人 冀北の杜（キホクノモリ）
事 業 名	～優しい心のバトンをつなぐ～ 障がい者就労で絵本創作
事 業 内 容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	<p>【実施内容】</p> <p>絵本用の物語（シナリオ）を公募実施要項を策定し、公募する。 7 作品が応募された。</p> <p>応募を即すために原画展を図書館で行った。反響は大。公募作品の中から選考会で、1 点の創作絵本をつくる。</p> <p>「こいぬのそら」全会一致で最優秀賞。横須賀土屋様賞を付与し、著作権をお譲り頂く。</p> <p>絵デザインを考え原画を描く。今回初めて物語の絵本で苦労した。又、色鉛筆画を描くペントスさんだけではなく利用者全員が関わった。</p> <p>寄付者に絵本をお譲りし、その寄附者が子育て支援事業所、保育園幼稚園等へ贈呈する。読み聞かせの会で活用する</p> <p style="text-align: right;">* 添付資料あり</p>
事 業 成 果 (事業計画に記載した課題の解決・改善成果を確認方法の観点から記載)	<p>応募総数は昨年と同じで、課題克服に至らなかった。しかし図書館で行った原画展で市民への啓発が出来た。</p> <p>前年度までの100冊を超えて200冊の寄附を確保できた。</p> <p>1人の利用者の作品ではなく、3作目にして利用者全員で絵本作りに関わったことは大進歩。</p> <p>支援者が増えたことは工賃収入アップにつながった。パラリンピック出場のプロアスリート山本様。推薦の言葉を賜った。本を勧め易かった。</p>
事 業 期 間	30 年 6 月 採択後日 ~ 31 年 3 月 15 日
協働の成果 (事業計画に記載した協働相手の役割の観点から記載) (パートナースhip事業・行政課題解決事業のみ)	<p>実行委員会のメンバーは、第3回目でも多大な貢献をして頂いた。特に印刷会社のデザイン指導は有難いものとなった。物体しか描けない利用者が物語の描写に大切な背景が描けなかったことの克服に大いに関与して頂いた。</p> <p>実行委員長機の機転で、山本篤様へのアプローチも協働のチカラ。本当に感謝している。</p> <p>福祉課には、図書館や新聞社対応に力を頂いた。</p>
今後の展開 (短期・中期のビジョン、「協働」を見据えた観点から記載)	<p>補助金事業は3年で終了をみるが、今回の絵本が増刷してどこまで寄付や販売が増えるかを見極めたい。協働を活かして、増刷200冊ぐらいは販売できるよう努力する。補助金無しでは、450冊45万円は損益分岐点であろうと考察し、次年度に挑戦できるか見定めたい。</p>

様式第7号

収 支 決 算 書

団体名: 特定非営利活動法人 冀北の杜

(収入)

区分	決算額(円)	説明
補助金	250,000	市民活動推進事業補助金 (パートナーシップ事業・福祉セーフティネット)
寄附金	200,000	1000円以上寄附(絵本1冊贈呈)
自己資金	97,438	NPO法人冀北の杜(予算額7万円)
借入金		
合計	547,438	

(支出)

区分	決算額(円)	説明
報償費	130,000	有識者謝金 技術指導謝金 HP管理謝金 原作者報償 推薦の言葉謝金
印刷製本費	362,240	募集チラシ3000枚 絵本製本費(原画、デザイン、製本料等)
使用料及び貸借料	8,000	会議場借り上げ代
通信運搬費	20,000	配布配達代
文具消耗品費	27,198	インク含む文具、画材、包装資材等
合計	547,438	
(うち対象外経費)	27,198	

事業報告書

団 体 名	特定非営利活動法人 COMPAS
事 業 名	みんなで子育て「カラフル・ブリッジフェアIN掛川」
事 業 内 容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	8月～11月 参加64団体の募集 10月16日 選考会 10月24日 事前説明会 11月11日 カラフルブリッジIN掛川 来場者数約1100人 安心をテーマにした子育て応援フェア実施 12月 6日 講話&子育て座談会 参加人数12名 これからの子育てについての基調講演と参加者 同士の意見交換。子育てについての課題相談、 今後のフェア内容提案など。 *事業報告書添付
事 業 成 果 (事業計画に記載した課 題の解決・改善成果を確認 方法の観点から記載)	来場者に、出展団体の活動紹介ができました。 出展者同士の交流もできました。 子育てなどの相談を色彩を活用した相談ができ、不安 を安心にかえるお手伝いができました。 アンケート回収率が悪く、参加者の満足度が正確な数 値であらわすことができませんでした。それによって 、市への提案ができませんでした。次回改善できるよ うに回収方法検討したいです。
事 業 期 間	H30年8月7日 ～ H31年3月10日
協働の成果 (事業計画に記載した協 働相手の役割の観点から 記載) (※パートナーシップ事業 ・行政課題解決事業のみ)	地域の企業や団体など多種多様な団体と繋がること ができ、もっと幅広い角度から地域の子育ての応援が できるのではないかと感じた。
今後の展開 (短期・中期のビジョン、 「協働」を見据えた観点か ら記載)	ワンストップサービス 悩み相談業務窓口をつくり社協の場をかりて行 う。支援が必要な方に対して(支援方法検討)カン ファレンス、関係各所へ橋渡し、伴走支援、継続フ ォロー。 3年目にHP、小冊子(イベント参加団体と行政とで作 る「掛川子育てネットワーク」の整備。 4年目以降、企業様など協賛金をもとに、持続可能な子育 て支援をしていく。

様式第15号

収 支 決 算 書

団体名: 特定非営利活動法人COMPAS

(収入)

区分	決算額(円)	説明
補助金	133,000	
参加費	135,500	企業3社×10000、個人事業主10社、NPO法人(販売有)10団体、ママ・NPO(非販売)20団体
自己資金	2,000	
合計	270,500	

(支出)

区分	決算額(円)	説明
報償費	35,883	子育て討論会講師と文章依頼、講師手土産代
旅費	3,000	高校生ボランティア(1名/1回)
文具消耗品費	14,976	看板、ラミネート、会場設営用品、
印刷製本費	49,175	チラシ印刷デザイン費、アンケート印刷
	75,209	12ページカラー300部印刷、デザイン費
食糧費	6,795	ミニ討論会お茶菓子、飲み物
通信運搬費	7,670	切手
使用料及び貸借料	36,650	たまりーな会場費(前日搬入分含む)
手数料	21,432	シルバー人材センター手数料(駐車場)
保険料	19,710	イベント保険
合計	270,500	
(うち対象外経費)	3,850	

パートナーシップ事業

特定非営利活動法人 冀北の杜



特定非営利活動法人 COMPAS



事業報告書

団 体 名	中村砦城山保全会
事 業 名	中村砦の避難道整備による地域の安全、安心づくり事業
事 業 内 容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	<p>竹林を伐採しつつ荒山の現状確認(29/5~継続) 不要な樹木の撤去 南側(29/11~継続) 先進地への視察(30/11愛知県足助城・鷲津砦) 先進地に視察は今後の事業の方向付けに良い勉強になり参考になった。 中小学校生徒への講演と出前講座(30/12/7) 全体計画作成(30/5~継続) ~ については今期分完了 については継続中 ~ は複数年かけて計画しているので来年度も継続して実施する予定である。 添付資料あり</p>
事 業 成 果 (事業計画に記載した課題の解決・改善成果を確認方法の観点から記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内にある荒れ放題の小高い丘(中村砦跡)がきれいに整備され明るく安全になり、区民が気軽に入山が可能になった。 ・災害時の緊急避難場所としてのスペースが確保できた。 ・地域の歴史を学ぶ場所として小学生の現地研修も実施でき歴史遺産として興味と誇りを感じる地域のシンボルとなった。
事 業 期 間	平成30年6月1日 ~ 平成31年2月28日
協働の成果 (事業計画に記載した協働相手の役割の観点から記載) (パートナーシップ事業・行政課題解決事業のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・協同相手団体である高塚区民に加え、高栄会、五月会、中地区まちづくり協議会のメンバーは作業の都度参加をし、協働のパートナーとして十分な理解と作業協力の呼びかけ等尽力してくれた。 ・城山頂上まで歩道ができ、31年元旦には区民数十人が御来光を拝みに登頂し万歳三唱が盛大に行われ区民と一体となっていて行っている事業であることの認識が深まっている。事業が進み成果が目に見えてくることにより協力者の満足度、意識の高揚が感じられる。 ・また、協同相手団体である行政のバックアップにより整備の方向、作業、研修、視察等の課題がスムーズに進捗できた。
今後の展開 (短期・中期のビジョン、「協働」を見据えた観点から記載)	<p>短期的...竹林の伐採がまだ残っており、本年も継続して実施していく。</p> <p>中期的...竹林以外の大木の伐採 頂上付近の急坂階段整備、危険個所の防護柵 簡易トイレ設置検討、芝生広場の整備 植林等を並行して実施していく。</p> <p>ソフト面...地域のシンボル場として、花見会、お茶会、避難訓練、花壇づくり、歴史勉強会等幅広く活用していく。</p>

様式第15号

収 支 決 算 書

団体名： 中村砦城山保全会

(収入)

区分	決算額(円)	説明
補助金	500,000	掛川市より
区民協賛金	75	
合計	500,075	

(支出)

区分	決算額(円)	説明
使用料・貸借料	430,682	掘削機械賃借料57,175 掘削機械賃借料146,707 小型掘削機賃借料226,800
旅費	25,650	視察(高速料金17,550 足助城入場料30名8,100)
文具消耗品費	40,130	燃料12,200 11,758(燃料6,118、刃5,640) チェーン替刃7,360 パソコンインク8,812
食糧費	2,209	作業時飲料2,209
手数料	1,404	振込手数料864 振込手数料540
合計	500,075	
(うち対象外経費)		

事業報告書

団 体 名	協働遠州
事 業 名	掛川市防災意識向上プロジェクト
事 業 内 容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	<p>被災地での学び</p> <p>6月24日(日)被災地物産を利用した防災調理学習会</p> <p>6月21日(木)～26日(火)岩手内6か所事前調整訪問</p> <p>8月18日(土)宮古工業高校交流(津波模型製作) 宮古市役所にて語り部から聴講</p> <p>8月19日(日)陸前高田市一本松にて掛川物産展 売上金は陸前高田市に全額寄付</p> <p>8月20日(月)遠野市後方支援センターにて講話 後方支援パネル資料いただく</p> <p>9月1日 掛川工業高校校内報告会</p> <p>10月17日(水)西郷地区報告会</p> <p>10月18日(木)静大付属中学出前講習</p> <p>11月4日(日)大須賀交流祭で写真展示と工作教室</p> <p>11月5日(月)三笠幼稚園陸前高田の砂で砂絵</p> <p>11月7日(水)防災研修会にて報告</p> <p>11月8日(木)掛川ライオンズクラブ定例会で 活動成果報告と協力要請</p> <p>12月6日(木)掛川ロータリークラブ定例会で 活動成果報告と協力要請</p> <p>12月7日(金)千浜小学校4年生2クラス 松毬工作と防災学習</p> <p>12月10日(月)中央幼保育園 松毬工作と防災学習</p> <p>平成31年</p> <p>1月7日～18日市役所2階フロアパネル展示</p> <p>1月20日～2月27日大東交流センターパネル展示</p> <p>3月1日～10日図書館パネル展示</p> <p>3月10日(日)3.11追悼の集い</p> <p>※ 実施内容のわかる資料・写真・新聞記事等を添付してください。</p>

<p>事業成果 (事業計画に記載した課題の解決・改善成果を確認方法の観点から記載)</p>	<p>被災地に向かったのは高校生5人、大学生2人と一般7人の14人だった。被災地での学びは大きな成果があり、参加した高校生のアンケートでも心に残る体験を多くの人に伝えたいとあった。報告会の機会は上記の通りだが、小中学校への展示、報告会の機会を増やせなかったのが事前調整の行き違いもあり悔いが残る結果となった。</p> <p>しかし、帰郷後に行った防災講座や展示に参加者の学生が被災地で学んだことを活かし、主体的に運営に加わってくれたことで、次世代を担う推進員の養成の面と、その活躍する姿を見た家族や周囲の人たちの意識改革につながり、当事業の最終目的安心で安全な街づくりを推進する要員の育成に成果を上げられたと考える。</p>
<p>事業期間</p>	<p>30年5月15日～31年3月15日</p>
<p>協働の成果 (事業計画に記載した協働相手の役割の観点から記載)</p> <p>(※パートナーシップ事業・行政課題解決事業のみ)</p>	<p>協働遠州は若者を被災地に連れて行き、実際に自分の目で見て、聞いたことを掛川市に持ち帰る活動をした。これまでの成果を資料にまとめて報告会を開催することが役割。危機管理課は報告会の場の提供だが、防災研修会や市役所内のパネル展示、3.11追悼の集いなど積極的に協力してくれた。とても良い成果が得られたと思う。</p>
<p>今後の展開 (短期・中期のビジョン、「協働」を見据えた観点から記載)</p>	<p>協働遠州が今年作成した資料は、遠野市の後方支援センター、陸前高田市や宮古市の被災当時の写真など貴重なものばかりである。これは今後も行政が行う防災研修や自治会・企業の学習にも積極的に使用していただきたい。</p> <p>また支援に出向く被災各地で培った人脈から提供される資料や写真等を収集、常に新しい情報が得られるデータベースを構築し、これをだれでも使える形となるよう、行政や地縁組織と協働し運用していきたいと準備を始めている。</p>

様式第15号

収 支 決 算 書

協働遠州

(収入)

区分	決算額(円)	説明
補助金	500,000	行政課題解決事業
参加費	140,000	10000×14人
寄付金	100,000	10事業者
自己資金	32,038	ふっこう支援掛川、WAKUWAKU西郷
合計	772,038	

(支出)

区分	決算額(円)	説明
報償費	61,775	運転手謝礼、講師謝礼
旅費	108,000	葵レンタカー
	16,000	長部コミュニティセンター宿泊費
	49,898	燃料費
	24,520	高速料金
文具消耗品費	291,269	データカード、動画ソフト、砂絵、松ぼっくり材料
印刷製本費	83,976	ポスター、コピー代金
食糧費	99,943	食事、仮設住宅の方との意見交換会
使用料・賃借料	23,040	風呂
通信運搬費	2,115	郵便代
手数料	11,502	茶娘衣装クリーニング、振り込み手数料
合計	772,038	
(うち対象外経費)	181,374	

様式第 14 号

事業報告書

団 体 名	掛川市観光物産センターこだわりっば (受任者：西東石油株式会社)
事 業 名	市民主体のイタリア・ペーザロ市との経済交流・観光振興の推進
事 業 内 容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	<p>イタリアマルシェの開催 日時：平成30年12月22日(土) 18時～20時 会場：こだわりっば 内容：オリーブオイルやワインなどイタリア(ペーザロ市)の特産品等の展示・販売 中心市街地で開催されるイベントと同日に開催</p> <p>高校生による姉妹都市交流メニュー開発 日程：平成30年11月9日～21日 全4回 会場：掛川西高校教室ほか 内容：両市の特産品を生かしたメニュー開発(イタリアンシェフによる指導・助言等) 11品目 制作過程で関連するイタリア語やペーザロ市等について学ぶことができる形で実施 発表会については、イタリアマルシェと同時開催 参加者数：36人</p> <p>インターネットによる情報発信 との情報や様子について、ウェブサイト作成、SNSによる情報発信、かけがわ街づくり株式会社からの情報発信</p> <p>輸出経路マッチング 業者との具体的な輸出方法に関する打ち合わせ (平成31年度に市内事業者への説明及び意向調査を行う)</p>
事 業 成 果 (事業計画に記載した課題の解決・改善成果を確認方法の観点から記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生の参画により、市民交流の足掛かりができた。 ・ 姉妹都市交流メニューの開発をとおして、多くの人々にペーザロ市の情報を発信し、認知度を向上させることができた。 ・ SNSなどの様々なツールを活用し、イタリアペーザロ市の情報を発信することで、こだわりっばを姉妹都市情報発信拠点として確立させた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地で開催されるイベントとタイアップしたことで、賑わいを創出し、多くの人々に姉妹都市をPRすることができた。
事業期間	平成30年11月9日 ~ 平成31年3月15日
<p>協働の成果 (事業計画に記載した協働相手の役割の観点から記載)</p> <p>(パートナーシップ事業・行政課題解決事業のみ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掛川市との協働により、各種の情報収集や関係機関との調整が円滑に進むとともに、行政の発信力により報道機関の取材が多く行われ、姉妹都市の認知度が高まった。 ・ 市民、団体等が事業に主体的に関わることで姉妹都市交流に対する関心度を高めた。 ・ かけがわ街づくり株式会社のコーディネートにより、中心市街地で開催されるイベントとの連携が図られ、相乗効果が得られた
<p>今後の展開 (短期・中期のビジョン、 「協働」を見据えた観点から記載)</p>	<p>短期的なビジョン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の企画提案事業を増やすなど、市民主体の姉妹都市交流の促進 ・ 姉妹都市交流メニューのブランド化 <p>中期的なビジョン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フードツーリズムへの発展 ・ 食とともに音楽等の芸術文化の振興 ・ 本市の特産品の輸出販路拡大への波及 ・ 事業の応募者からの参加費等に加え、共同開発メニューを販売することで、収益を事業運営に充てる。

様式第7号

収 支 決 算 書

団体名: 掛川市観光物産センターこだわりっぱ

(収入)

(受任者: 西東石油株式会社)

区分	予算額(円)	説明
市補助金	500,000	市民活動推進事業補助金
自己資金	4,357	
合計	504,357	

(支出)

区分	予算額(円)	説明
報償費	399,600	情報発信用HP・FB作成399,600円
旅費	69,195	高校生共同メニュー開発打ち合わせ9,375円(掛川-島田36.2km(往復)×7回×37円) 輸出マッチング打ち合わせ58,720円(新幹線東京-掛川14,680円(往復)×4回)+(東京-海浜幕張1,100円(往復))
文具消耗品費	35,022	イタリアマルシェ・高校生メニュー発表会会場装飾35,022円
手数料	540	振込手数料
合計	504,357	
(うち対象外経費)		

行政課題解決事業

中村砦城山保全会



協働遠州



掛川市観光物産センターこだわりっぱ 受任者西東石油(株)





「茶のみやきんじろう」

©掛川市

この補助金に関するお問い合わせ、申し込み先は

〒436 - 8650

掛川市長谷一丁目1番地の1

掛川市役所協働環境部 生涯学習協働推進課 協働推進室 協働推進係

TEL : 0537 - 21 - 1129

FAX : 0537 - 21 - 1165

E-mail : kyodo@city.kakegawa.shizuoka.jp



掛川市まちづくり協働センター

検索

まちづくり情報を発信中!

市 HP

